



## OPRTプレスリリース

平成24年7月3日

### 復活！「10月10日はまぐろの日」シールデザイン募集について

(平成24年度(第9回)OPRT天然・刺身マグロキャンペーン関連)

OPRT(社)責任あるまぐろ漁業推進機構は、まぐろの生産、流通、消費等に関わる国内外の全会員団体の協力の下に、天然刺身まぐろキャンペーンを毎年実施しています。本年度は「10月10日はまぐろの日」を中心に据えて、10月1日～10月10日の間、実施する予定です。

今年のキャンペーンに先駆けて、OPRTは日本かつお・まぐろ漁業協同組合と連携して、キャンペーンで使用する「10月10日はまぐろの日」シールのデザインを、7月初旬から、消費者等から広く募集(要領下記)します。

この「まぐろの日」は、奈良時代の歌人、山部赤人がまぐろ漁で栄えている明石地方(現在の兵庫県)を讃える歌(万葉集に記載)を10月10日に作ったことにちなんで、1986年に日本鯉鮪漁業協同組合連合会(日鯉連)が制定しました。

日鯉連解散により、埋もれていた「まぐろの日」を、シールデザインの募集を通じて、復活し、日本の食文化と密接に関係する「まぐろ」について、消費者の関心が高まることを期待するものです。

『「まぐろの日」は、はえ縄で獲った美味しいまぐろをもっと食べてもらいたいとの漁業者の素朴な想いを基に制定されたが、魚食の減退傾向や高級食品の多様化の前に、その想いは一層強まっている。制定後、約30年。「まぐろの日」の復活は、まぐろの消費拡大への想いに加え、新たな情勢への対応をせまられている多くのまぐろ関係者の想いを反映するものだ。30年前には、190万トンに過ぎなかった世界のまぐろ漁獲量が、今や、その2.4倍の450万トンに達している。かかる状況を踏まえ、まぐろ漁獲規制の強化に向う国際社会の流れ、そしてその流れの中で、官民一体となって頑張っている日本について、消費者の関心を深めていただく日とするところに「まぐろの日」の今日的意義もある。』と原田雄一郎・OPRT専務は述べている。

## 記

### 1. 募集要領

- ①募集内容：・「10月10日はまぐろの日」をわかりやすく伝えるデザインを募集
- ・シールデザインには、必ず、「10月10日はまぐろの日」の文字を含めること。
  - ・最優秀作品により、シールを作成、キャンペーン用ポスター、パンフレット等に使用する。
- ②応募規定：・OPRTの配布する募集パンフレットの応募ハガキ又は官製ハガキにより、応募者の氏名、住所、電話番号、性別、年齢、職業を明記の上、応募作品をOPRTのマグロシール係へ送付。
- ・作品は未発表のものに限り、応募作品は返却しません。
  - ・採用された作品には、補足、修正する場合があります。
  - ・採用作品の著作権はOPRTに帰属します。
- ③応募資格：性別・年齢不問
- ④賞金等：受賞者には賞金及び副賞のマグロをプレゼント
- ・最優秀作 1点 賞金10万円 クロマグロ 2kg
  - ・優秀作 2点 賞金 5万円 ミナミマグロ 2kg
  - ・佳作 3点 賞金 3万円 ミナミマグロ・メバチ詰合せ 2kg
  - ・参加賞 選外の応募者から抽選で50名に メバチマグロ 1kg  
(賞品の刺身マグロは、日本かつお・まぐろ漁業協同組合の提供です。)
- ⑤募集期間：平成24年7月1日から同年8月31日  
(応募締切：平成24年8月31日消印有効)
- ⑥選定方法：平成24年9月初旬、OPRT会員による選定委員会で選定する。
- ⑦発表：受賞者に通知し、プレスリリース、OPRTホームページで公表。

2. 募集ポスター及びパンフレットは、OPRTホームページ ([www.oprt.or.jp](http://www.oprt.or.jp)) に掲載されています。ご希望の方は、部数、宛先、住所、電話番号を下記にご連絡ください。お送りします。

(問合せ先)

(社) 責任あるまぐろ漁業推進機構  
事務局長：田端 事業部長：人見  
TEL：03-3568-6388  
FAX：03-3568-6389  
Eメール：[hitomi@oprt.or.jp](mailto:hitomi@oprt.or.jp)